

# 東海鉄道OB会報

第15号  
平成20年10月



「熊野古道」(大門坂) 陶都支部 中川博行

## 目次

- 地本・支部だより
- 第四回東海大阪地方本部総会開催  
東海大阪地方本部 吉野和雄…2
- 第四回磐田支部総会開催  
磐田支部長 大塚忠一…2
- 二〇〇八年春さわやかウォーキング  
『恋愛ウォーキング♡恋の三社めぐり』の  
コース案内に参加して  
名古屋東・守山支部連合…2
- 平成二十年度 定期総会を終わって  
富士宮支部長 望野健吾…3
- 第二十三回目の定期総会を終えて  
身延支部事務局長 渡辺 一…4
- 平成二十年度 西濃支部定期総会を開催  
西濃支部長 永墓守夫…4
- 「カラオケ同好会」二周年を迎えて  
守山支部副支部長 平林 昇…5
- 第三回「菊作り」講習会の開催  
東海大阪地方本部 八木芳博…5
- さわやかウォーキング  
「歴史ある大高駅周辺を訪ねて」の応援に参加  
笠寺支部長 二村昌士…6
- 名古屋地方本部  
本部長表彰式及び総会開催  
名古屋地方本部 渡辺一成…6
- JR東海トピックス…7
- グループインフォメーション…10
- 読者のひろば…12
- 駅探訪／「会報への寄稿、  
文芸欄への投稿」要領／編集後記…16

# 地本・支部だより

## 第四回 東海大阪地方本部総会開催

東海大阪地方本部 吉野和雄

平成二十年七月十六日(水)十七時三十分から「東海鉄道OB会東海大阪地方本部第四回総会」がニューオオサカホテル「淀の間」において、本部長、事務局長、四支部長等五十七名の出席を得て開催しました。

はじめに、片山地方本部長から「東海鉄道OB会東海大阪地方本部発足当時の会員数は、百十七名であったが、支部等の協力をいただき、平成二十年四月一日現在二百十二名の会員数となった。また、各支部主催で、ゴルフ大会及び菊作り講習会も定期的に開催し、レクリエーション活動の活性化が図れたこと」など感謝と会員確保の協力等がありました。

続いて議事に入り、吉岡事務局長より十九年度の活動報告と収支決算報告並びに二十年度活動等の重点目標を提案して満場一致で決議されました。

また、平成二十年度予算案、役員改選では、児童運輸営業支部長が退任され、新しく奥原運輸営業支部長が選任され、活況のうちに総会は終了となりました。

総会終了後、引続き懇



親会に移り、東海旅客鉄道株式会社の坪内取締役総務部長、工藤執行役員関西支社長、関西支社幹部をはじめ、中川東海鉄道OB会専務理事、法人会員の代表等の方々に来賓として参加して戴き、OB会員との楽しい会話をし、相互間の意見交換等旧交を深めることができ有意義な懇談となりました。

## 第四回 磐田支部総会開催

磐田支部長 大塚忠一

五月二十五日(日)磐田支部の総会が、中泉公民館で会員七十二名が出席して開催された。

冒頭、前年度の物故者十二名に対し黙祷を捧げた。支部長の挨拶とお礼の言葉のあと、鈴木正雄氏に役員功労表彰の授与がなされた。

来賓の柳澤伯夫衆議院議員より、昨秋の参院選挙後の難しくなっている国会報告、磐田駅長(代理)からJR東海の決算状況は好調で、今後も安全でお客様に喜ばれる鉄道輸送の完遂、OB会静岡地本白井康雄事務局長より会員の高齢化による会員の減少を防ぐため、新規加入の勧誘への努力と、ねんきん特別便の内容は、皆様には問題無しと思うが、疑問点のある方は必ず確認をとる挨拶を受け、祝電(鈴木 望磐田市長、坂本由紀子参議院議員)を披露した。

議事は、平成十九年度の経過報告、監査結果の報告

を行い承認された。また、平成二十年度の運動方針(案)、収支予算(案)を審議し、原案通り可決された。当支部の活動は、前年度に引き続き次の三つの柱を中心に展開することとなった。

- ・OB会会員の増を図る
- ・OB会会員の連携を密にする
- ・OB会会員同志元気な老後をめざす

役員改選は、新支部長に平野利一氏が選任され、全会一致で承認され、新・旧支部長の挨拶で、会員皆様のご指導、ご協力をお願いし、支部だより「ふれあい」への投稿も依頼した。

最後に、九十六歳でお元気な斎藤 猛顧問の発声で万歳三唱し総会を閉じた。

今回の総会の特記事項は、紅一点の鈴木幸子(遺族会員)さんの出席と、二月に入会した大澤正幸氏(昭和二十二年生)が参加されたことである。OB会の出会は、幅広く誰でも気楽にと呼びかけているので、嬉しかった。

総会後、懇談会に移りお互いに近況を語り、趣味に誘い、昔話に花を咲かせ再会を約した。

## 二〇〇八年春さわやかウォーキング 『恋愛ウォーキング♡恋の三社めぐり』のコース案内に参加して

名古屋東・守山支部連合

JR東海の「二〇〇八年春のさわやかウォーキング」で、中央線千種駅は恋にまつわる三つの神社を巡って歩く「恋の三社めぐり」でした。これは六年前から名古屋市昭和区桜花学園高校の生徒が実施しているイベントとのコラボ企画で、いつもと気分を変えて心身ともにリフレッシュしたウォーキングで、

好天に恵まれた六月一日に行われました。OB会がコース案内、桜花学園高校の生徒が各神社での恋にまつわる言い伝えなどの説明を行い、多数の参加者が訪れ、テーマに相応しいイベントとして楽しく成功裡に終了しました。

コースは、高牟(たかむ)神社(境内に湧き出る水「古井の水」が、恋の水に伝えられる)を経て高見社宅跡地にJR東海が開発した、分譲マンションと商業店舗が立ち並び、広場、並木路等緑豊かな環境の「セントラルガーデン」を通り抜け、日泰寺を経て「縁結び・夫婦円満の御神木のある城山八幡宮」に詣り、上野天満宮を経て「平安時代に活躍した陰陽師、安部晴明」に由来し、恋愛に悩む若者の参拝が絶えない「晴明神社」を経て、ナゴヤドームを横に見て大曽根駅へゴールする約九・二キロメートル、所要時間約三時間が設定されました。

千種駅→高牟神社→今池→セントラルガーデン  
↓日泰寺→城山八幡宮→上野天満宮→晴明神社→大曽根駅

この計画は、支部総会で来賓の千種駅長からお聞きし、名古屋東、守山両支部で協力を約束し、当日コースの主要ポイント八箇所でもOB会会員が参加者の案内をすることになりました。

当日七時四十分千種駅へ両支部の会員十六名が集合し、千種駅長の訓示と指示を受け、コース内に設置されたポイント八箇所の案内役として千種駅長の指揮下に入って、参加者が千種駅をスタートする八時三十分までには、各ポイントに付き、オレンジ色の腕章「東海鉄道OB会」を巻き、休



日で混雑する名古屋市内での参加者の交通安全に注意するとともに、快適な「さわやかウォーキング」を楽しんで頂けるように誘導案内を行いました。

大曽根駅でのゴール受付終了の十五時過ぎを待つて、千種駅長の指示により各ポイント八箇所を撤収して、十六時過ぎに大曽根駅に集合。千種駅長の謝辞を受け、それぞれ所属する支部長の解散指示により家路に着きましたが、使命達成感と無事に終わった安堵感で一杯でした。

このさわやかウォーキングの応援は、名古屋東支部と守山支部が共同で千種駅の応援を始めたのが平成十八年十一月で、既に六回目を数へ、次回、本年十一月開催予定の千種駅企画、さわやかウォーキングの応援は既に千種駅と約束済みです。

## 平成二十年度定期総会を終わって

富士宮支部長 望野健吾

JRが発足して二十年、そして新体制に即した東海鉄道OB会が発足して丁度満三年になる。その間JR東海との結びつきも益々強くなり、地域に密着したOB会として発展している。

そうした中で、富士宮支部総会を五月十日富士宮市内の富士急ホテルで、来賓としてJRから平野富士宮駅長、静岡地本から白井事務局長の臨席を戴き盛大に開催した。

大会では、新役員の選出、今年度の運動方針(案)等が熱心に討議され、約一時間で総会は無事終了したが、今回私が支部長の大役を仰せつかってしまった。

役員の若返りを図っている時に、喜寿を迎え、すでに後期高齢者の仲間入りをしている私に、今更この

大役が勤められるだろうかという危惧もあったが、一旦引き受けた以上、支部長として恥ずかしくないよう最善を尽くし、会員諸氏との交流を深めながら、OB会活動の発展に努めていきたいと思っている。

富士宮支部では、今年度の運動方針の一つとして、支部組織の立直しと、会員の増強を図っていくこととした。会員の高齢化により、弱体化した組織の見直しを図るため、規約を一部見直し、新しい体制のもとに会員相互の親睦を深めながら、お互い助け合って充実した日々を目指していくため、ひとりでも多くの未加入者に加入を勧め、会員の増強を図りOB会組織の発展につなげていきたい。

二つ目として、レクリエーション活動を実施することにより、会員相互の親睦を一層図ることとした。昨年度は、レクリエーション活動の一環として石和温泉への一泊旅行を実施したが、今年度は多数の会員が各種行事に気軽に参加できるように、ウォーキングをはじめ各種行事の愛好会を作り、広く会員を募集し会員相互の親睦を図る場を作っていきたい。

特に、レクリエーション活動については、総会後の親睦会の席でもいろいろな人からレクリエーション活動に対する要望が出され、関心の深さを痛切に感じた。

OBになると、誰しも経験していると思うが、現職の時は、職場の中でいろいろな人との交流があっても、いざ退職してしまうと、今までの人達との付き合いも次第に疎遠になり、何か始めようと思っても周りに付き合ってくれない人がいないため、次第に孤独感を感じ、やがて引きこもりがちになる。そういうことを避けるためにも、同じ組織で働き、気心の知れた者同士が、活動を通じて有意義な人生が送れるよう、OB会として手助けをしていきたいと思っている。

私は、今年一年この運動方針に沿ってOB会活動を推進していくつもりであるが、特にレクリエー

ション活動によって、会員相互の親睦をさらに深め、喜びを共にし、お互い助け合って、充実した日々を目指して行きたいと思っている。

## 第二十三回目の定期総会を終えて

身延支部事務局長 渡辺 一

身延支部は、五月十一日第二十三回定期総会を支部の中心地点である下部温泉駅に近いホテルで十一時三十分から開催しました。

今回の定期総会は、折しも身延線全線開通八十周年記念の年と重なったため、我々の飯の種となっているJRに何らかの形で参加、協力出来ないかと、早期より検討して来ましたが、結果的にはJRへ何も恩返し出来ずの総会になってしまいました。

しかし、事前に会員全員に八十周年のイベントに参加しようと呼びかけていたため、何らかの形で表現する必要性に迫られ、検討の末「身延線の歴史をたどる」と銘打って、十四ページの立派な冊子を作り、会員全員に配布しました。



皆様方には、お見せすることが出来ず残念ですが、身延線全線開通（昭和三年）から遡ること三百二十年前より、富士川を開削して、駿河（現富士川町）から甲州（現鯉沢町）までの交通手段として、船を利用した時代から、今までの歴史と身延線

八十年の沿革史を中心に、元上司山口政美氏に協力していただき仕上げたものです。総会当日には、時間の関係上冊子の内容まで披露出来ませんでした。が、帰宅後、一読することによって身延線八十周年の思い出に浸れるものと確信しています。

さて、前置きが長くなりましたが、総会は最初に亡くなられた諸先輩の御霊に黙祷を捧げた後、支部長の挨拶に続き、静岡地本の白井事務局長から最近の、OB会の状況や中央における年金への取組み等が報告されました。中でもOB会全体の課題である会員増強については、各支部ともに苦勞されている状況にも拘わらず、当支部は、平成十七年度に続き十九年度も会員増強による団体表彰を受賞したことに對して、敬意を表す旨の謝辞がありました。

続いて、JR東海を代表して上田身延駅長よりJRの営業成績、リニアによる中央新幹線のボーリング調査も順調に推移していますとの報告と、総会開催に對するお祝いの言葉を戴き早速議事に入りました。

事業報告、決算報告、事業計画、会員増強策等を審議の結果、原案通り満場一致で承認され、一旦、総会の幕を下ろした後、懇親会に移りました。

懇親会では、OB会に久々に出席された遠藤隆光さんの乾杯のご発声により開宴しました。

暫くお互いに杯を酌み交わしていると、美人艶歌歌手が登場しデュエット等で賑やかな一時の後は、空くじなしのお楽しみ福引、そして、総勢十七名による大人、子供一緒の太鼓の饗宴を行う等、あつというまの二時間でした。

中でも太鼓の饗宴が始まると、ホテルの宿泊のお客様や従業員まで見物するありさまで、会員は雑談を止め、箸も盃も置いて食い入るようになり、聴き惚れ感激していました。

最後に、やはり久々に出席された小林孝氏の万歳三唱でお開きとなり、会員みんなが良かったね、い

い企画をしてくれたと口々に語り合い、笑顔で帰路につかれました。

役員の一入として、満足と安堵した総会の日でした。

## 平成二十年度西濃支部定期総会を開催

西濃支部長 永墓守夫

平成二十年度西濃支部定期総会を、五月十九日十一時から大垣市北地区センターで開催しました。

総会には、来賓としてJR東海から運輸営業部丸山課長代理をはじめ加藤大垣駅長、中村大垣電力区長、圃目大垣保線区長、JR東海ツアーズ山田大垣支店長、名古屋地方本部からは平井本部長の皆様をお迎えし、会員八十一名が出席しました。総会の概要は次のとおりです。

(一) 本年米寿を迎えられた十一人、喜寿を迎えられた九人の方々に賀詞を贈呈。

(二) 今年度に向けての目標について  
東海鉄道OB会が発足して三年が経過しました。この間JR東海をはじめ関連会社のご指導とご協力並びに会員各位のご尽力により順調に初期の目標を達成しつつあることを心から感謝申し上げます。

(イ) 最近の社会情勢の中でも、年金問題、後期高齢者医療問題等、私達に直接関係の深い問題が種々あります。これらの問題とともにOB会の直接の事柄として、会員の減少状況が大きな問題であります。

当支部の会員状況も、平成十九年四月一日～平成二十年三月三十一日までの一年間の増減は、新規加入者十二名、物故者十四名、退会者十五名で差引き十七名の減少となり、本年四月一日現在の会員数は、三百四名で会員の減少傾向になかなか歯止めが

かかりません。

OB 会発展の基礎は云うまでもなく会員の増強にあります。会員の皆様の周囲、あるいは知人等に J R 退職者で OB 会に未加入の方がいましたら、是非加入の勧誘をしていただき、また、支部にもご連絡下さい。皆様と支部執行部が協力して会員増強の努力をしていきたいと思ひます。積極的なご協力をお願いします。

(ロ)次に「支部だより」についてですが、会員相互の親睦と OB 会の活性化を目標として三ヶ月毎に発行しておりますが、残念ながらなかなか皆様に満足いただけるものになっていない事を申し訳なく思っております。今年も皆様のご指導、ご協力を得て少しでも良いものになるようにしていきたいと思ひます。皆様の投稿をお待ちしております。

以上(イ)(ロ)の二点を今年度の支部の目標に掲げて西濃支部の発展を図りたいと思ひます。

皆様の絶大なご協力お願いします。

(三)平成十九年度決算報告書を提案し承認を受けて会議を終了しました。

その後、懇親会に移り、お互いに健康を祝し、近況を語り合つて盛会のうちに十四時に総会を終了しました。

## 「カラオケ同好会」二周年を迎えて

守山支部副支部長 平林 昇

名古屋地方本部守山支部では、平成二十年七月二十三日来賓四名の参加を得て、「カラオケ同好会」発足満二周年を迎え、第十二回目の「カラオケのつどい」を二周年記念大会と銘打って、何時もの会場韓国料亭海山(ヘサン)で開催しました。

今回は、記念行事と云うことで隣接の名古屋東支部の有志の方のご協力を得て、総勢十四名の参加となり、最近にない盛況でした。

当日は、十二時から初め約四時間に亘り、元気な声でプロ顔負け?の熱唱ぶりでした。

会のはじめには、全員で集合写真とプロ並みのポーズで歌われた個人写真を撮影しました。

同会の立ち上げは、平成十八年十月で、十名の有志

で第一回を開催し、その後、隔月ごとに回を重ねてきましたが、発足当時から若干の不安がありました。

参加者の確保とその参加が、一過性でなく継続性をどう維持するかが問題でした。しかし幸いにして会員相互で協議し「申し合わせ事項」を作成し、お互いに確認し合いながら今日まで継続することが出来ました。

現在会員は十一名ですが、やはり高齢者同士の集合体ですから療養に入られた会員もあります。また、次回の開催日を二ヵ月後の某日と決めましたが、間近になって所要が出来たり、身体の変調があることなどで欠席が目立ち、ある時は六名のみでの参加で開催しました。

しかし、当初から私たちがの年代になればある程度は覚悟のうえでの発足でしたので、前向き志向で(一)会員の勧誘、(二)内容の充実(女性の参加、演歌舞踊が出来る人の参加)などを掲げマンネリ化を避ける努力を常にしてきました。

カラオケは、大体一時間に十二曲歌えます。参加人員にも左右されますが、全般的に長時間かかりません。飲める方は多少のアルコール類が入り、また、平常



では余り声の発生など出来ませんが、この場では、精一杯の声を出し、プロ歌手並みの若返り術、さらにストレスの解消にも役立ち、高齢者の健康づくりには「結構よろしいのではないだろうか」と自画自賛しています。

比較的低料金と「半日程度の時間消化」「コミュニケーションの場」「ストレスの発散」「健康的で多少の頭を使う」といいことづくめの「カラオケ同好会」の発展に努めて行きたいと思ひています。

## 第三回「菊作り」講習会の開催

東海大阪地方本部 八木芳博

平成二十年五月二十九日(木)にジェイアール東海関西開発(株)本社 A 会議室において、二十三名が参加し、今回も井上先生にお願いして第三回「菊作り」講習会を開催しました。

冒頭、片山地方本部長から今年で三回目となり、「菊作り」講習会も定着してきた。今後は他の趣味の会の活性化を図り、同じ趣味を持つ者同士の情報交換場所とし、魅力ある OB 会にしたいとの挨拶をいただきました。

講義は、井上先生が菊の苗を用意して、実際に小鉢に土と培養土を入れ菊の移し変えの実演講義をされました。今回で三回目ということで、菊作りにおいて、困ったこととか疑問等の質疑応答となり、和やかなうちに講義が終わりました。

最後に井上先生は「熱意と注ぐ愛情によって大輪が咲く。これは菊に限らずどんなことにでも当てはまる。たかが菊作り、されど菊作り、随分とその奥は深い」といわれました。

## さわやかウォーキング 「歴史ある大高駅周辺を訪ねて」 の応援に参加

笠寺支部長 二村昌士

去る六月十五日(日)、JR東海「春のさわやかウォーキング」の新しいコースとして、笠寺支部内の大高駅を出発点とする「大高緑地公園のコース」と「歴史ある大高駅周辺を訪ねるコース」を組み合わせたウォーキングが開催されました。

私が、この計画を知ったのは四月下旬でした。早速、大府駅長(大高駅の管理駅長)に連絡をとり、笠寺支部のOBとして、大高駅で六月に開催されるウォーキングのお手伝いを申し出ました。五月に入って大府駅長から、大高駅周辺コースの要所の交差点で、交通整理に人が必要なので、OB会の応援を頼みたいと連絡を受けました。そのため、支部長以下七名の要員を拠出して対応することとしました。

当日は、八時三十分から大府駅長の指揮下に入り、グリーンジャンパーを借用し、腕には「東海鉄道OB会」のオレンジ色の腕章を巻き、コース途中の名古屋高速高架下の交通量のある、水上神社入口側の交差点と、神社の出口側で一般道路と交差する見通しの悪い箇所等の二箇所交通整理と道案内・旧跡の案内に当たりました。午前十時頃から順次参加者が増え、多くの参加者の皆さんと接することが出来ました。十一時三十分頃がピークでしたが、トラブルもなく午後二時に役目を終了しました。終了後に反省会を開き、



今回ウォーキングのお手伝いを通じて、久しぶりに緊張感のある楽しい時間を味わうことができ、「これからもチャンスがあればお手伝いしよう」と異口同音の発言でした。

今回のウォーキングの出発点となった大高駅は、明治十九年(一八八六年)三月に設置された鉄道駅で、武豊、半田、亀崎、緒川、熱田と共に愛知県内で最も古い歴史のある駅です。

また、この大高の地には、戦国の時代に織田信長と今川義元が戦った、桶狭間の合戦の最前線の基地があり、現在は、旧跡として鷲津砦、丸根砦、大高城跡として保存されています。

さらに、この大高の隣町には、旧東海道の宿場町で四十番目の鳴海宿があり、有松・鳴海絞の発祥地、有松には古い町並みが保存され「絞り会館」と共に産業観光の一つとして人気を高めています。

一方、大高には熱田神宮の摂社で水上姉子神社が遷座されています。この神社の祭神は、尾張国を開拓した天火明命の末裔国造乎止与命の宮媛媛命が祭られています。熱田神宮との関わりは、日本武尊から預け授かった、草薙剣を一族の斎場だった熱田の地に奉安されたことに始まります。社殿は水上山一帯に広大な五・九ヘクタールの境内にあり、貞享三年(一六八六年)五代將軍綱吉が社殿を造営、現在の社殿は明治二十六年(一八九三年)熱田の別宮八剣宮の本殿移築、拜殿は名古屋離宮の仮賢所を移転したものです。

私達の笠寺支部の地域は、名古屋の南東部に位置し、古い歴史の中で残されてきた名所、旧跡が数多く点在しています。また、大高駅近くに昔から三軒の造り酒屋があり、毎年二月下旬に蔵開きが行われ、新酒の香りと初々しいお酒の味を楽しむことが出来ます。他支部の皆様も、是非当地へ一度お出かけ下さい。

## 名古屋地方本部 本部長表彰式及び総会開催

名古屋地方本部 渡辺一成

名古屋地方本部は、本部長表彰式及び総会を、六月六日(金)十一時から愛知厚生年金会館で、開催しました。

当日、来賓としてJR東海から東海鉄道事業本部河原崎管理部長、東海鉄道OB会本部から中川専務理事の出席を戴き、また、名古屋地方本部からは、平井本部長始め、各支部長と本部長表彰を受賞する支部会員等五十七名が出席しました。

表彰式に先立って、物故会員三百三名に対する黙祷を捧げ、続いて本部長から長年に亘りOB会の発展に寄与された一支部の団体と、十二名の個人の方々に表彰状と副賞を手渡し、その功績を讃えました。

その後、来賓の紹介、新任支部長の紹介を行い、続いて本部長からOB会の現状と、今後のOB会には、会員の増強が是非とも必要で、各支部を魅力ある支部にするために、アンケート調査を行い、また、会員の中にいるそれぞれの達人を見出し、その達人を活かしてOB会活動の発展につなげていきたいと、協力を呼びかけました。

また、来賓の河原崎管理部長は、「さわやかウォーキング等」への協力に対する感謝の言葉に続いて、JR東海の現状と営業関係の施策等を説明され、最後に今後もJR東海及び関連企業に対する協力を依頼されました。

続いて、総会に移り十九年度の事業報告、決算書を説明し、高松会計監査員から監査報告があり、審議の結果承認されました。また、平成二十年度の基本方針(案)及び予算(案)の主旨説明を行い審議の結果全員一致で承認され閉会しました。

# JR東海ト

# ピックス

総合企画本部

平成23年春に開館予定

## JR東海博物館(仮称)の建設について

JR東海の社内誌「おれんじ」7月・9月号の記事を抜粋及びJR東海野球部のお知らせを掲載しています。

当社は、名古屋市が進めている「モノづくり文化交流拠点構想」に参画し、名古屋港区金城ふ頭にてJR東海博物館(仮称)を建設することとしました。

建設予定地は、名古屋臨海高速鉄道のあおなみ線金城ふ頭駅(名古屋駅から24分)から徒歩で約2分の場所です。伊勢湾岸自動車道の名港中央インターチェンジからも直ぐの場所です。他県も含めた名古屋市以外のアクセスも良好です。この予定地に名古屋ドームのフィールドとほぼ同じ広さの延床面積約1.4万㎡、一部2階建ての建物を建設し、平成23年春の開館を予定しています。

この博物館では、東海道新幹線を中心に、在来線から次世代のリニア車両までの車両展示を通じて、「高速鉄道技術の進歩」を紹介するとともに、鉄道が社会に与えた影響を「学習する場」を提供します。また、子供たちが楽しく接しながら学べるよう模型やシミュレーターを活用するとともに、設備面ではバリアフリーを追求していきます。

展示内容としては、新幹線や在来線などの実車を35両程度展示します。また、シミュレーター、ジオラマ、シアター及びその他の鉄道技術の紹介や鉄道の歴史などを展示するとともに、後世に引き継ぐべき資料などを保存していきます。社員・家族の皆さまをはじめ、多くの方々に愛される博物館を目指して建設をしてみたいと思いますので、ご期待をいただきたいと思います。



▲予定位置



▲外観イメージ



▲内観イメージ

### ◆ JR 東海トピックス ◆

新幹線鉄道事業本部

## 車体傾斜システムと省エネルギーを評価され

# N700系が日本機械学会賞(技術)、 電気学会電気学術振興賞(進歩賞)を受賞

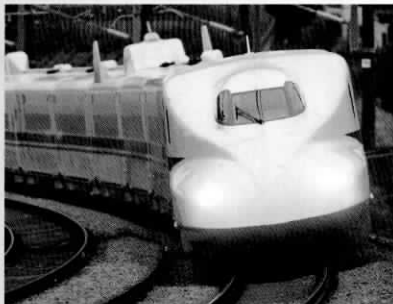
N700系が車体傾斜システムによる速達性や、省エネルギー化による社会経済への貢献度などを評価され、栄えある日本機械学会賞(技術)、電気学会電気学術振興賞(進歩賞)を受賞しました。両賞は、日本の技術発展を奨励することを目的に、優秀な技術などを毎年表彰するものです。日本機械学会、電気学会という、機械・電気分野で学術伝統を持つ日本で最大級の学会からの表彰であり、N700系の技術レベルの高さを改めてPRすることができました。

N700系はこの他にも第17回地球環境大賞 日本経済団体連合会会長賞など数々の賞を受賞しており、平成19年7月1日の営業運転開始からこれまでに合計13の賞を受賞しました。これらの栄誉を受け、より一層社会に貢献できるように、技術の向上に努めてまいります。

賞名	主催者
1 日本機械学会賞(技術)	日本機械学会
2 電気学術振興賞(進歩賞)	電気学会
3 平成19年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰	環境省
4 第17回地球環境大賞 日本経済団体連合会会長賞	フジサンケイグループ
5 2008年ブルーリボン賞	鉄道友の会
6 第6回日本鉄道賞	「鉄道の日」実行委員会
7 2007年グッドデザイン賞金賞(車両)	(財)日本産業デザイン振興会
8 2007年グッドデザイン賞(腰掛)	(財)日本産業デザイン振興会
9 新日本様式100選	「新日本様式」協議会
10 JIDAデザインミュージアム セレクション	日本インダストリアルデザイナー協会
11 2007年日経優秀製品・サービス賞 最優秀賞・日経産業新聞賞	日本経済新聞社
12 第20回DIMEトレンド大賞 ホビー・レジャー部門賞	小学館
13 APAアワード2008特選賞	(社)日本広告写真家協会



▲第17回地球環境大賞表彰式



▲N700系車両外観

事業推進本部

## 障がい者とともに印刷・封入事業を行う会社

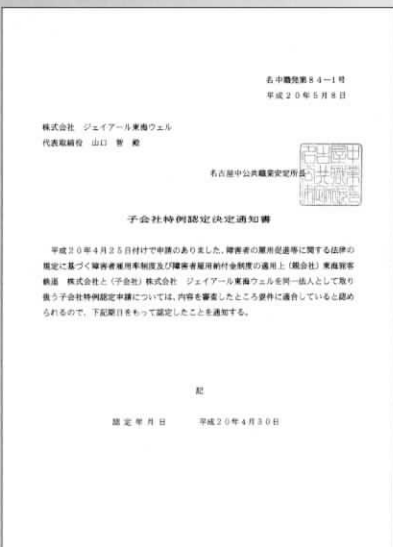
# (株)ジェイアール東海ウエル 特例子会社に認定

様々な障がいを持つ方々の雇用を主な目的として平成18年10月に設立され、平成20年4月から本格的に営業を開始した「株式会社ジェイアール東海ウエル」が、4月30日付で「障害者の雇用の促進等に関する法律(障害者雇用促進法)」に基づく「特例子会社」の認定を受けました。

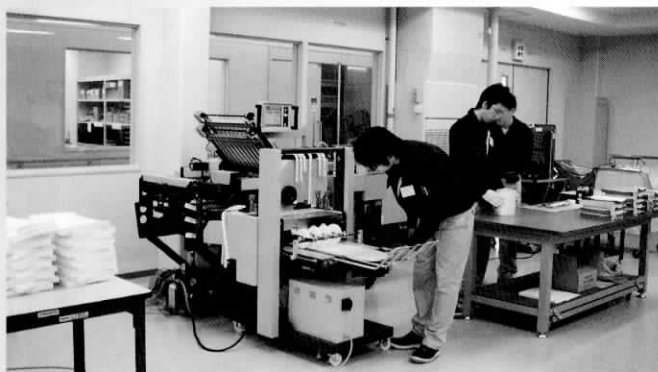
特例子会社とは、障がい者の雇用に特別の配慮をし、かつ一定の要件を満たして厚生労働大臣の認定を受けた子会社のことです。認定を受けると、その子会社に雇用されている社員は親会社に雇用されているものとみなされます。

当社の障害者雇用率はこれまでも法定の雇用率を上回っていますが、今回の同社の認定により、さらに0・15%程度増やすこととなります。

今後は、主力である印刷事業をはじめとする技術力の一層の向上とノウハウの蓄積等により経営基盤の安定化を図り、より多くの障がい者を雇用していくことが期待されています。



▲認定証



▲作業風景(印刷製本)



### ◆ JR 東海トピックス ◆

#### 事業推進本部

## JRセントラルタワーズ

# 「タワーズプラザレストラン街」 リニューアル

JRセントラルタワーズでは、来年、開業10年目を迎えるにあたり、12・13階の「タワーズプラザレストラン街」のリニューアルを、2期に分けて実施しています。

今回、第1期として、7月18日に名古屋初登場の新規5店舗、「デリツィオーソイタリア・エビス トーキョー」、「ピストロ&ピアカフェ カンカル」、「魚がし料理 嘉鮮」、「名古屋市場直送 寿司嘉文」、「黒豚しゃぶしゃぶと芋焼酎 黒豚庵」が開業しました。また、館内をより

快適な空間とするために、パウダーコーナー・授乳室の新設、トイレのグレードアップも行い、ベンチも増設しました。第2期の開業は、平成20年11月上旬を予定しています。フランスで43年間三星を誇るレストランのシェフ、ポール・ボキューズ氏の「ブラッスリー ポール・ボキューズラ・メゾン」を始め、新規店舗4店が開業し、全40店舗が営業することとなります。

さらに魅力あるレストラン街を目指すタワーズプラザに、今後もご期待ください。



▲ピストロ&ピアカフェ カンカル



▲デリツィオーソ イタリア・エビス トーキョー

#### JR東海野球部 事務局

## JR東海硬式野球部

# 第35回社会人野球 日本選手権大会出場

京セラドーム大阪にて11月13日開幕  
ご声援宜しくお願い致します

4月に開催された岡山大会にて見事優勝を飾り11月13日から開催される第35回社会人野球日本選手権大会へ出場(6年ぶり10回目・JR発足以来5回目)することにいたしました。

◆組合せ抽選日(10月23日)



▲岡山大会で見事優勝(4月22日)を飾る第35回社会人野球日本選手権大会出場権獲得!



家接順也 監督

日頃よりOB会の皆様からご支援ご声援を賜り感謝申し上げます。この度の第35回社会人野球日本選手権大会に出場できることを大変光栄に思っております。練習の成果を如何なく発揮しダイヤモンド旗獲得のため全力で戦ってまいります。ご声援の程宜しくお願い致します。



井上裕貴 主将

日頃より多くのOB会の皆様から力強いご声援をいただき誠に有難うございます。現在、日本選手権大会へ向けて、選手全員が必死になって頑張っております。感謝と謙虚な気持ちを忘れずに、目標である「日本一」を目指しチーム一丸となって戦ってまいります。皆さまのご支援・ご声援宜しくお願い致します。

# ///グループインフォメーション

ASTY 静岡

お客様を笑顔でおもてなし

## ジェイアール東海静岡開発(株)



◀三周年祭ロゴマーク

当社は、静岡駅商業施設「アスティ静岡」をはじめ、三島駅、御殿場駅、清水駅、焼津駅、藤枝駅等の各商業施設及び静岡地区高架下の開発・運営を行っています。

「アスティ静岡西館」は、平成3年のオープン後、平成18年3月高架橋耐震補強工事にあわせて、「駅のアスティから街のアスティへ」をコンセプトにグランドオープンしました。その後も、「アスティ静岡東館」をリニューアル開業するなど、駅利用者だけでなく地元の方々にもご愛顧いただいています。

今年度は「ありがとう！リニューアル三周年祭」と銘打って、ロゴマークの作成や、年間を通じたイベント等充実させ、魅力度向上に努めてまいります。また、「お客様を笑顔でおもてなしキャンペーン」等を行い、より一層の接客サービスの向上を図ってまいります。

静岡駅にお越しの際にはリニューアル三周年を迎えた「アスティ」にぜひお立ち寄りください。



▲アスティ静岡西館エントランス



▲開明軒



▲シジャン



▲万豚記

JR東海建設

鉄道の建設・改良工事を通じてグループの発展に貢献

## ジェイアール東海建設(株)

当社は昭和63年に設立され、今年20周年を迎えます。鉄道建設・改良工事を中心に、土木・建築・営繕・グリーンの4事業部門で、「安全・品質・工程・収支」をキーワードに、お客様の信頼と期待にお応えすべく事業を展開しています。

土木部門では、高山本線の災害復旧工事を行い運転再開に力を注ぎました。現在は、N700系新型車両の台車交換設備改良、勝川駅付近の高架化、各地区での耐震補強などに取り組んでおり、新幹線の輸送基盤強化や鉄道の安全・安定輸送の確保に努めています。

建築部門では、新横浜中央ビル、京都・静岡駅のリニューアル、神領・島田・木曾川駅の橋上化、烏森社宅が完成し、現在、東京・名古屋・新大阪



▲神領駅の橋上化



▲勝川駅付近の高架化

駅のリニューアル、共和・大高間の新駅設置の他、社宅新設などを行っています。

また営繕部門では、駅建物や事務所・社宅などの維持修繕を、そしてグリーン部門では、ナゴヤ セントラルガーデンの植栽維持管理をはじめ、造園工事や観葉植物の販売・リース業を行っており、皆さまの身近でも事業を展開しています。

今後も、鉄道建設・改良工事の技術をさらに磨き、グループ全体の重要施策である山梨リア実験線の延伸や東海道新幹線バイパス計画への取り組みはもとより、グループ全体の総合力向上に寄与できるよう頑張っております。

FAT

無事故運航を継続中(20,600時間超)

## ファーストエアートランスポート(株)

当社はJR東海が所有するヘリコプター3機を運航している会社です。シコルスキー式S76(2機)と川崎式BK117(1機)で安全運航を第一に掲げ、会社発足以来無事故飛行2万611時間(6月30日現在)を現在も更新中です。

当社の主な業務は、JR東海の安全・安定輸送を支援するための線路及び架線の巡視、調査、撮影飛行及び鉄道施設の警戒・警備等です。ヘリコプターを格納・整備する基地は栃木ヘリポートと名古屋空港ヘリポート(今年2月津市伊勢湾ヘリポートから移転)の2箇所、パイロット6名、整備士9名により業務を推進しています。

営業施策としては、上記巡視等業務を完遂するとともにヘリコプターが得意とする高性能デジタルカメラ等を活用した線路、橋梁、送電線の調査点検を補完するなどより質の高いサービスをJR東海に提供しています。

そして、会社発足時から念願であった栃木ヘリポートから東京ヘリポートへの移転がかない、今年度末移転に向け取り組み中です。当社をご利用いただくお客様に、より便利で質の高いサービスを提供できるものと期待しています。



▲S76ヘリ(JA11CJ機)



▲名古屋格納庫



いつでも誰でも気軽に参加できる

2008  
AUTUMN

# さわやか ウォーキング

12/23祝まで好評開催中! 土・日・祝 開催

参加費無料 予約不要 駅がスタート!  
一部のコースを除く 一部のコースを除く 一部のコースを除く



名古屋・飯田地区  
12/7  
まで開催

列車に乗ってエコ  
**Eco歩**スタート!  
エコ歩



静岡地区  
12/23  
まで開催

富士山眺望コース  
スタンプラリー開催



ウォーキングは、  
メタボにも  
効果バツグン!

列車でエコ、  
ウォーキングで  
エコ行楽!

さわやかウォーキングに、  
便利でおトクなきっぷ。

**名古屋  
飯田  
地区** **青空フリーパス**  
おとな 2,500円 こども 1,250円

**静岡  
地区** **休日乗り放題きっぷ**  
おとな 2,600円 こども 1,300円



右の風景写真:虹の郷(撮影:佐藤 美栄子さん)2007さわやかウォーキングフォトコンテスト入賞作品

JR東海ホームページ <http://jr-central.co.jp>

写真はイメージです。

開催については、JR東海の駅にある専用パンフレット又は、ホームページをご覧ください。



# 読者のひろば

## 36 災害を振り返る

飯田支部 清水清勝

昭和三十六年六月二十七日から二十八日に亘り、中部山岳地帯を襲った記録的な集中豪雨により、当時の国鉄は勿論、一般市町村も大災害を受けました。連続降雨量五百十二ミリ、最大日雨量三百三十三ミリ(二十七日～二十八日)、最大時雨量三十五ミリ(二十七日十八時から十九時)でした。災害はこの時間帯に集中して発生しました。



鉄道は、伊那小沢～伊那福岡間で路盤決潰流失、土砂崩壊、線路埋没等々、百三十五件の被害を受けて不通になりました。経験したことがない大災害発生で、保線区の職員と協力業者では労力不足なので、静岡鉄道管理局内の職員や協力業者にも応援を依頼しました。市町村の消防団等は、地元の道路や河川が大災害を受けていたので、その復旧に

一生懸命でした。

当時は、マイカーの利用は殆どなく、高校生やサラリーマンは鉄道を利用していたので、一刻も早く開通させることを使命として、復旧作業に努力しました。特に市田～下平間は、河川の氾濫による線路の埋没、鉄橋の傾斜等の復旧に自衛隊に出勤をお願いして、ブルドーザー二台で協力して頂きました。

最後に開通したのが、七月十五日でしたが未曾有の大災害に対処し、人命損傷もなく全職員が一致協力、開通まで約一万人の作業員が、復旧作業に従事したが、無事完遂することができ、地域住民の足を確保することが出来ました。

あらゆる困難を克服して、早期復旧に尽力した功績が認められ、飯田保線区は十河信二国鉄総裁から表彰状を受賞しました。

## インド洋孤島の想い出

身延支部 深沢 満

真っ青な空、発達した積乱雲、東京から南に約一万一千キロ、カーニコバル島の熱い一日が、今日も始まろうとしていた。

朝未き、蚊のなくような金属音と共にヤシの葉越にキラリと光る物体、英国のモスキート偵察機だ。半年程前迄は島に五機の零戦が常駐し、あざやかな空中戦でほとんどを打ち落とされていたが、戦局の悪

化で今はいない。

昭和十八年九月、二つの飛行場を持ったこの島の警備についた新開独立支隊は、十キロ四方位の小さな島で海岸線を中心に、椰子の木を積み重ねた戦闘壕を造る毎日だった。

島の原住民は、真っ黒な肌、男女共全裸で、男だけが一物の先端に木の皮で造った鞘のような物を付けていた。

私達の警備したサワイ湾は、ムース岬の先端に海軍の砲台があり、時折りやって来るセイロン島からの偵察機以外は平和な毎日だった。

昭和二十年に入ると英軍の艦砲射撃——空襲と、定期便のように攻撃が激化していった。

スマトラ島からの補給が途絶え、野豚や錦蛇、大トカゲを食べ、椰子の実や野草で飢えをしのぐ毎日が続いていた。

そんなある日、突然艦砲射撃が始まった。遥かな海上に敵戦艦十数隻、後方に空母が斜めに見えた。砂浜のあちこちに直径五メートル深さ四メートル位の敵主砲の炸裂した穴が次々に出来てゆく。樹木の枝葉がパラパラと雨のように降りかかる、椰子の木が途中から折れていった。飛び込んだタコツボが浅かった。

空母からの爆撃が始まった猛烈な爆発音、ガンと頭をなぐられたような激しい耳鳴り、土煙りで一寸先も見えない、すぐ前のタコツボを飛び出した戦友が、地面に叩きつけられて倒れた。隣りの兵は破片を腹に受け、傷を押さえる指の間から吹き出る血が、ポタポタと地面を染めていった。

水平線からの敵戦艦からの砲撃、光る、煙りが上がる。数えて一、二、…ヒュッと頭上を砲弾がかすめる。一、二、音がしない。危ない。炸裂音、すぐ近くだ。砂地が動いた。だめか、之が最後かも知れない。タコツボからやつと抜け出し、後方陣地の地下壕

に移った私達に、雨期に入った島ではスコールが何回も来た。壕の中が水びたしになり靴がもぐり足がふやけた。激しい攻撃の中、二日も三日そのままだった。

島を囲んだ艦隊に輸送船団が加わり、水平線の彼方の青い海は真っ黒な船でうずまっていた。上陸用舟艇をおろし始めたようだ。

サイパンの陥落、ガム島の玉砕が頭をよぎる。敵来襲から三日目の八月十六日の朝、晴れわたった海の蒼さが眼にしみた。アッ、敵艦がない。どうしたのだ、頭が困乱した。

八月十五日に日本が降伏したのを部隊長以下だれも知らなかった。

それから六十年もの歳月が風のように通り過ぎ、スマトラ沖地震の震源地に近い、インド領カーニコバル島は、津波の被害で島民は全滅したとの新聞報道があった。 合掌

## 熊野古道に魅せられて 第三弾

蟹江支部 東 昇

五月に台風が三回も日本列島に接近するなんて、過去にはなかったようだ。幸いにも台風四号が、二十日に接近した。

台風一過、翌日の出発は、とても清々しい好天に恵まれたドライブ日和。日本で第十二番目に世界遺産登録を受けた熊野古道「松本峠・花の窟コース」(約九キロ)に挑戦の日だ。今回で熊野古道は三度目。前回同様弥富市に住む実弟と一緒にマイカーで試みることにした。

ドライブは長距離ドライブが生きがいの小生の

担当。情報収集は、インターネットで、ルート・天気予報等を検索。松本峠コースの出発点は、熊野市駅よりも、国道四十二号線コース途中の鬼が城駐車場が適切と判断。そこを目的に、さあスタートだ。

紀勢自動車道の視界は、緑いっぱい山。スピード感に満ち溢れる快適な走行が、旅の良さを倍増してくれる。最高たび日和に感謝しながら二人の会話が弾む。

荷坂峠マンボウの丘を十時五十分頃通過。十一時三十五分「海山」道の駅に立ち寄り、腹ごしらえだ。「にぎりめし」の味は、格別だ。十二時過ぎ鬼が城を目指しスタート。

十二時五十分鬼が城駐車場に到着。すぐ前にある階段が、松本峠コースだと案内を受け、いよいよ歩行開始。この急な山道階段は「さくら道」といい、桜を楽しめるところだという。喘ぎ喘ぎ坂道を登る。長時間の車なれした体を、山登りになじむようになるまで少々時間を要したが、綺麗に整備された歩道を歩むにつけ、迎えてくれる地元の心遣いをみて



とれる。旅がいい・心も癒される瞬間、自分の存在を改めて思い、「ありがとう」の一声が自然とでる。さくら道を登りきると、「鬼の見晴らし台」に到着。

ここから見る熊野灘、七里御浜の眺望は言葉に尽くしがたく素晴らしいものだ。ここから松本峠まで山道を約七百メートル。松本峠・峠の地蔵にお参り、苔むした石畳に風情を、峠付近の竹林がさらに雅な雰囲気醸し出している。下り道を降りきると笛吹き橋を渡り、熊野市街の記念通り商店街を経て熊野市駅前へ。七里御浜沿いの国道四十二号線に出て、獅子岩、花の窟神社に参詣。

国道四十二号線の歩道を利用。鬼が城駐車場まで戻る。この間、沿道に植えられたパンジー等綺麗な花々を鑑賞しながら熊野灘の海原を眺め、七里御浜の良さを満喫。コース全体に心配りされている地元の心意気が理解できる。十六時二十分鬼が城駐車場に戻り、マイカーを「かんぼの宿・熊野」に走らせ、十六時三十五分到着。一日の労をねぎらった。兄弟水入らずの旅のよさ満喫、温泉にゆったりご馳走に舌つづみ。幼少の頃からのことを語らい、よい両親に育てられたことに感謝できたよき日であった。

二日目は、急遽計画変更。熊野速玉大社、熊野・那智大社、青岸渡寺まで足を延ばし、今まで健康でこれたことを報告。一路名古屋を目指し岐路につく。途中大宮町「滝原宮前」で小休憩のみ。無事二日間の五百十キロ走行を達成、感謝と満足の旅でした。来年も是非熊野古道を訪れたいと願ひ、これからも健康維持に徹したい。

## 蒸気機関車のある風景

静岡支部 片平雅之

我家の居間兼応接間は、家にいるとき大部分を過ごすところである。その部屋に形ばかりのソファー

とパソコン、小さな書棚、ピアノが置いてある。ソファーに座って新聞を見たり、仮眠もする。このピアノの上の壁に蒸気機関車の写真が付いたカレンダーがある。二ヶ月毎に替えるもので、いつもその写真を見ながら過ごしていると、言っても過言ではない。

父は鉄道員であったことから、家族は鉄道官舎に住み転勤のたびに官舎も変わった。そこは何処も線路の近くにあって、そんなことから、小さい時は蒸気機関車を見て育ったし、機関士になりたいとの夢は持っていた。小学校の時、友達が「僕は駅長になりたい」と言ったことに対して私は「蒸気機関車の機関士になる」と話したことを今でも覚えてる。

その後、私も鉄道員となったが、蒸気機関車の機関士の道には進まなかった。しかし蒸気機関車には憧れはずーと持っていた。長い車両を引き力強く進む蒸気機関車は、男の勇姿とも重なった。そのような人間になりたいとの願望もあった。

その願望は長い間持っていて、それが私が生きる糧となっていた。同期の人が蒸気機関助士、機関士になったのを見て羨ましく思った。

私の育った戦後は、廃墟の中から全てが始まったので、力強く切り開いていく蒸気機関車はその象徴であった。しかし時代は変わって、今は日本の数箇所で観光用に走っているに過ぎない。

当時は、花形であった蒸気機関車の機関士は、時代の流れの中で転換を余儀なくされ、そのことで苦勞したことを聞かされた。

現在は新幹線の電車が蒸気機関車の数倍の速さで走っている。斜陽化が言われた鉄道を救った新幹線は、民営化を経てますます進化をしている。この運転士はさぞ恰好いい職業かと思うが、若い人の憧れは、我々が抱いた蒸気機関車のようにあるのだろうか。ハイテク化された技術や車体のスマートさ速さは、

蒸気機関車と違った強い憧れがあると思う。

この写真を見ると、戦後世の中が力強く躍進していく時、それを牽引する蒸気機関車のようなものがあった。それに憧れて自分を重ね合わせ夢を実現させようとする力もあった。それは、社会全体に言えるものであったと思う。しかし、現在のよう政治や経済にしろ、牽引するものが見えない社会、何か曇り空のような漠然とした不安が、先行する社会であるような気がする。すっきりした晴天が続く社会になってほしいと思う。

カレンダーにある、力強く走る蒸気機関車を見ながら、世の中の変遷の速さを感じつつも、そこに力強く切り開く、機関車に変わる何かが現れることを願っている。

この写真を見ながら、そんな気持ちにさせられた。このカレンダーは先輩から頂いたものである。

## 豊橋支部の運営に想う

豊橋支部長 小川孝生

昭和四十三年五月、豊橋支部が発足したと記録されている。それから約四十年の歳月が流れ、東海鉄道OB会豊橋支部となって三年となった。

その間、沢山の先輩達が過ごしてきた歴史を感じる。私が加入して二十年、事務局長六年、支部長二年の歳月のなかで、四百二十余名の会員が高齢化による減少を余儀なくされて、四月一日現在、二百十六名となって半減している。

豊橋市、豊川市、新城市、浜松市北部をエリアとする南北に細長い地域での特性の故、当初毎月一回の新聞発送の役員会から、今では、年四回の会報

発送の役員会へと、十五名の役員の参集が減少した現在、会員の情報収集が少なくなった気がする。郵送費の節約と会員の安否確認のため平成七年には、百三十二名の方々に手配りしていた配達も、現在は九十二名となり会員減を余儀なくされている。

ゲートボール、グランドゴルフ、カラオケ大会等催事を計画してはとの意見もあるが、総会すら四十余名の現実を見ると理想論ではと思う。元氣印の会員の多くは、すでに地元で各種のサークル活動に参加している現状から、OB会での呼びかけは無理だと思われる。

現在、元氣な後期高齢者の役員が活躍してくれているが、JRへの増収協力も、年々参加者の減少を余儀なくされている現状には、心苦しいばかりである。

私ごとながら、町内会区長、連区長、校区長、体育振興会長、豊川市連区長会会長、老人会会長等を仰せつかり、自治活動に参加して感ずることであるが、各種会合での女性参加の進出の余りの多さに驚き、参加者から元氣、勇氣、意欲等あらゆる面で勉強させられている。

結果として、大勢の方々との交友の輪が広がり感謝している。私は、あらゆる機会に皆様方にも参加を呼びかけている。

最後に、次の項目は老人クラブ活動の全国三大運動で

- 一 健康をすすめる運動
- 二 在宅福祉を支えあう友愛活動
- 三 社会奉仕活動

OB会活動にも、この精神を抛りどころとして取り組んで行きたいと思っている。

短歌

高山の匠のわざは見事なり

絢爛豪華な山車の数々

山車の上からくり細工の人形は

生けるが如く舞を踊りぬ

陶都支部 伊藤博司

爪を塗る若き日持たぬ妻なれど

紫蘇もみし手に紅のにじめり

文選も植字も今日は死語ならず

印刷工父の三十三回忌

上伊那支部 竹内滋一

蝸の声追い行けば秋の風

名月待ちてススキ波うつ

一夏の名残りを惜しみ

空蟬の追い急がせし秋の風

磐田支部 鈴木さよ子

曾って我が勤めし駅も合理化で

職員もなく列車発ち行く

客のなきホームに停りて発ちて行く

一両気動車団地の駅を

津支部 岡 俊雄

心臓の処置入院を受ける吾

組上の鯉かモニターを見つむ

遙かなるコンビニナート群眺め見る

住む街の上ひとひらの雲

四日市支部 小川 勇

着せ替えの人形みたい着ては脱ぎ

花火見にゆく妻のうるさき

田の土手に腰を下ろしておいしいお茶  
話題は茶飯事殺しに詐欺なり

中津川支部 細江 勲

山々が錦繡着こなす里の秋

五穀豊穣祝うお囃子

童たち笛や太鼓に誘われて

黄金波打つ畦道をかけ

名古屋機関区支部 服部幸夫

俳句

白百合の残る一本凜と立ち

梅雨空に好きな俳句を書く事に

春日井支部 秋田洋子

稲穂でる水汲み上げる音しきり

涼風やしばし竹む風呂上がり

津支部 奥村太喜男

乾杯はみな笑顔して初鰯

草踏めば草色の虫出でにけり

浜松東支部 大倉照二

はてしなき鉄路の堤ちちろ鳴く

留守に来て走り書き置く萩の庭

山東支部 久保田かよ子

無人駅の風鈴ハイカー鳴らし行く

夏草に埋もれてゆく廃線路

津支部 濱口義徳

青春の誓いも今は遠い夢  
狩野川の河川敷には鯉轍

沼津支部 山田寿男

夏の夢実現されるリニヤカー

炎帝や普く我を照らしけり

西濃支部 高畑正良

川柳

今聞いたそのことを聞く認知なの

卒寿なりまだ大丈夫がある

美濃太田支部 竹内幸一

暴言を吐いて後悔だけ残り

高齢者の夢を裏切る保険証

富士宮支部 渡辺定善

幸せはまだ役に立つボランティア

栢山はまだ視野にない食べっぷり

大府支部 藤井芳雄

満ちたりて見る人生の深い夢

闘病の証カルテに見る厚さ

美濃太田支部 三島次朗

竹島に触れると船が難破する

惨敗の掌に針巻きを握りしめ

笠寺支部 稲塚正一

軸足をずらして見えた世の流れ

越境の枝を払って向かい風

岐阜工事局支部 弓桁英二

# 駅探訪

## 飯田線 しんしろ 新城駅

●開業 / 明治31年4月25日  
●所在地 / 愛知県新城市宮ノ西

新城市の玄関口となる新城駅。広々とした吹き抜けを備えた木造の駅舎はどこか懐かしい雰囲気漂う。待合室を見渡すと、大きな長篠の合戦陣立て図が掲げてあった。戦国時代 武田軍と織田・徳川連合軍が繰り広げた長篠・設楽原の戦いの舞台になった場所はこのあたりのようだ。



かつて、当駅には列車到着時、ホームの一部となり通過後にはスロープになるという珍しい「可動式ホーム」があった。跨線橋の建設に伴って撤去されたため、残念ながら今はその姿を見ることはできない。また、当駅到着・始発列車が数多く設定されているのは、飯田線の前身・豊川鉄道が三河一宮・新城間を開業した際に当駅を終着駅とした名残であるところか。

駅から徒歩約20分、三河の嵐山と称されている桜の名所「桜淵(さくらぶら)公園」を訪ねる。江戸初期、新城城主菅沼定実が遊歩の地にしようと豊川沿いにサクラを植樹したのが始まりという景勝地。春には一面サクラの花で埋め尽くされ、市内外から多くの見物客で賑わう。周辺には宿泊施設も多く、夜桜も楽しめる。サクラの後はツツジ・ボタンと咲き続き、夏は川遊びやキャンプ、秋は紅葉と年間を通じて興趣はつきない。対岸には「蜂の巣岩」と呼ばれる巨岩や鍾乳洞、石門等があり、溪谷美も兼ね備えている。

清流豊川で育った天然鮎は夏の風物詩。引き締まった身とほろ苦い腹わたは格別の味わい。いつまでも鮎が泳ぐ豊川であってほしいと願わずにはいられない。

そして、真夏の夜空を華麗に彩る桜淵公園の大イベント「新城納涼花火大会」は8月13日に開催される。迫力ある音と光の競演を楽しみたい。

駅探訪は、JR東海の社内誌「おれんじ」8月号から抜粋し再構成したものです。

### 「会報への寄稿、文芸欄への投稿」要領

#### 1 「表紙写真」

会報誌の表紙に掲載する写真を会員から募集しております。表紙の写真が会員からのものでなくては会報誌としての意義がありません。応募写真は、それぞれの会報誌発行時の季節にあつたもので、画面に列車等が入っていないくても結構ですが、JR東海エリア内のもを希望します。

カラーB5サイズ以上一枚、ポジフィルム、デジカメデータ(解像度A4サイズで三〇〇DPI以上)送付別紙に所属支部、氏名、住所、電話番号を記入し添えて下さい。なお、複数ご応募いただいた場合には会報編集委員会にて採用選考させていただきます。また、お送りいただきましたものうち、ポジフィルム、デジカメデータ記録媒体については、後日お返しいたします。

#### 2 「支部だより」

OB会活動の原点は支部における活動であります。今後さらなる活性化のため、お互いにそれぞれの支部の運動方針や活動状況等を参考のために是非投稿して下さい。

なお、支部総会、支部クラブ活動、会員交流会、増収協力旅行、清掃美化運動、事故防止運動等支部からの「たより」を随時受付いたしております。テーマ、内容等は自由ですが、六百字を目途にまとめ、執筆者氏名を明記し、状況のわかる写真をできるだけ一枚添えて下さい。

#### 3 「読者のひろば」

会員からの「随筆、情報、体験談等」を随時受付けています。テーマ内容等は自由ですが、千二百字以内、挿絵、写真等の掲載希望はい

ずれか一枚以内とし、所属する支部、氏名及び住所、電話番号を明記して下さい。

#### 4 「絵手紙」

会員からの「絵手紙」を随時受付けています。色彩が鮮明なもので会報発行時の季節にあつたものを歓迎いたします。応募年月日、所属する支部、氏名及び住所、電話番号を明記して下さい。

#### 5 「短歌、俳句及び川柳」

会員からの「短歌、俳句及び川柳」を随時受付けています。応募は、会報発行毎に、一名種別ごとに官製葉書一枚に、短歌は二首、俳句は二句、川柳は二句以内の限り、会報誌発行時の季節にあつたものとし、記入の際に、「冠部の「短歌」「俳句」「川柳」と朱書し、応募葉書には、応募年月日、所属する支部、氏名(本名を記入する)及び住所、電話番号を明記して下さい。

#### 6 「掲載要領」

寄稿又は投稿された作品等は順次会報に掲載いたしますが、応募状況や紙面の都合、発行時の季節に合わせるなどして、掲載が遅れる場合がありますからご承知下さい。なお、誤字等は修正させていただきますが、寄稿又は投稿された原稿は返却いたしません。

#### 7 寄稿及び投稿先

〒四五〇一〇〇〇二  
名古屋市中村区名駅三十一三十一  
キヨスク名駅ビル内  
東海鉄道OB会・会報編集係宛

### 編集後記

会報第十五号(十月号)の編集と今後のお願い  
曇さのなか多くの興奮と感動を与えた北京オリンピックも終わり、ようやく天高く馬肥ゆる候となりました。

#### 一 地本・支部だより

紙面及び日程の都合で前号では掲載できなかった名古屋、東海大阪の両地方本部及び富士宮、身延、磐田、西濃各支部の総会の様子を紹介しました。できるだけ多くの支部の総会を紹介したく思っていますので今年投稿されなかった地方本部、支部につきまして来年はぜひ投稿して下さいませう、よろしくお願ひします。

会員の減少が東海鉄道OB会の最大の問題となつていながら、東海大阪地方本部は平成十七年四月発定当時の会員数百七十七名が平成二十年四月現在二百一十二名と八割も増えていると紹介されています。各位のご尽力に感謝いたします。

#### 二 読者のひろば

豊橋支部長小川氏の「豊橋支部の運営に想」で述べられていることは、まさに各支部共通の悩みかと思ひます。会員の高齢化に伴う各種行事等の参加率の減少に対し、有効な手立てがない現状を憂え、それでもなんとかしようと頑張っておられる先輩諸氏には頭がさがります。

#### 三 アンケートについて

今年度の事業計画でもお知らせしましたが、OB会活動の活性化の一環として、全会員に対するアンケートを実施いたします。会報に折り込みましたアンケート用紙に記入していただき、誠に恐れ入りますが返信用封筒に八十円切手を貼っていただき、お送り下さいますようお願いいたします。集約結果は、出来れば新年号でお知らせしたいと思います。

(中川)

発行 千四五〇一〇〇〇二  
名古屋市中村区名駅 三丁目三十一  
キヨスク名駅ビル内 東海鉄道OB会本部  
発行人 中川 博行  
電話 〇五二一五六二一六〇八〇(FAX兼用)